

JICAからの受託事業

遠隔研修と来日によるハイブリッド型研修を実施

■ 課題別研修「民間セクター・市民社会との協働による固形廃棄物管理（A）コース」

期間：2023年9月4日～2023年10月6日

研修員：6名 対象国：6ヶ国（アゼルバイジャン・クック諸島・コソボ・キルギス・パレスチナ・アルジェリア）

■ 課題別研修「固形廃棄物管理の基礎（B）」コース

期間：2024年1月15日～2024年2月16日

研修員：6名 対象国：6ヶ国（カンボジア・モルディブ・ネパール・ヨルダン・ソロモン諸島・南スーダン）



JICA 草の根技術協力事業

■ JICA草の根技術協力事業（2017年8月～2024年4月）

「持続可能な地域づくりに向けた官民協働による環境学習推進プロジェクト」

2020年からの新型コロナウイルス感染症によるパンデミックによって、日本・ソロモン諸島両地域においてプロジェクト関係者の行動が制限され、2年間の期間延長

2017年からのプロジェクト活動においては官民協働組織「ホニアラ市パートナーシップ委員会」（ホニアラ市所管）の承認の下行われ契約満了までに、地域理解学習教材「わたしたちのホニアラ」（小学校3年生社会科副教材）を作成し、全小学校の社会科教員を実施することができました。

環境学習センター（自然環境）では、水槽6基に河川に生息する魚や貝、カニ、エビなどを展示するとともに森林研究省植物園職員がクラフトなどの展示を行い、開館以降、保育所、小学校、中等高等学校、大学等様々な団体からの来館者に展示物の解説や植物園内の散策プログラムなどを提供しました。

2023年7月には、西宮市長がホニアラ市を訪問し、市内見学などホニアラ市への理解を深めるとともに環境学習都市間交流フォーラムを本プロジェクトの現地報告会の中で実施し、相互協力と交流を促進することを表明する覚書を締結した。双方の持続可能な地域づくりに寄与できたのではないかと考えています。



都市間交流・協力に関する覚書調印式

社会課題解決や新たな価値創造に向けた各主体との連携・協働の推進

■ 西宮市環境計画推進パートナーシップ会議及び各部会等への委員派遣

- ・環境計画推進パートナーシップ会議委員

■ SDGs 関西フラットフォームへの参加

■ 各種団体への理事などの派遣

- ・（公財）コープともしびボランティア振興財団理事

■ 各種委員会への派遣

- ・JICA「大洋州地域廃棄物管理改善支援プロジェクト フェーズⅡ」国内支援委員会委員
- ・（公財）コープともしびボランティア振興財団助成検討委員
- ・スチール缶リサイクル協会「小・中学校における環境教育推進支援事業」審査委員

■ 大学への講師派遣

- ・神戸女学院大学「NPOマネジメント論」後期 2回生 29名（15回）
- ・神戸女学院大学「地域活性化論 学外研修」2回生13名（12/9）
- ・兵庫県立大学大学院生 甲山での職場体験受入 9/4 9/15 9/16

■ 講師派遣

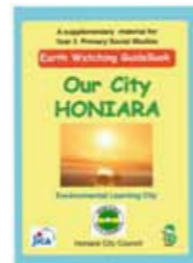
- ・兵庫県立淡路景観園芸学校（兵庫県立大学院緑化景観マネジメント研科）4/26
- ・阪急・阪神ホールディングス新入社員研修 5/10
- ・生活クラブ 6/17
- ・春風エココミュニティ会議 7/25
- ・夙川青少年愛護協議会 8/8
- ・西宮市立浜甲子園体育館 8/12
- ・一麦保育園 9/12
- ・「遊ぼう！学ぼう！宮っ子の森」2件 甲陽園小学校 10/25 平木小学校 11/8
- ・西宮市地域保健課「しめ縄作り」11/18
- ・西宮市初任者研修 第7回校外研修（小中共通）11/17
- ・甲子園口コミュニティ 11/23
- ・西宮市保育士研修 12/7
- ・阪急・阪神ホールディングス（ゆめ・まちソーシャルラボvol.83/ゆめ・まちこどもラボ）12/10
- ・春風エココミュニティ会議 12/26

■ 寄付

- ・富国生命神戸支社西宮営業所様から 富国生命100周年事業を受けて ご寄付をいただきました。3/11
- ・イオンスタイル甲子園店様より ご寄付をいただきました。

■ 名義後援

- ・「実践活動としてのスチール缶を含む集団回収を通じて環境教育に取り組む 小・中学校への支援事業」スチール缶リサイクル協会



地域教材「わたしたちのホニアラ」



特定非営利活動法人 こども環境活動支援協会

2023年度 報告書

Learning and Ecological Activities Foundation for children

もくじ

■ 事業報告

- 持続可能な社会の担い手となる次世代育成に向けた事業 . . . 1
- 環境学習都市・西宮における各種実践を通じた国際協力 . . . 2
- 森林資源の循環利用を通じた都市型里地里山事業の推進 . . . 2
- 環境学習都市・西宮における各種実践を通じた国際協力 . . . 3
- 社会課題解決や新たな価値創造に向けた各主体との連携・協働の推進 . . . 3

特定非営利活動法人 こども環境活動支援協会（LEAF）

〒662-0832 兵庫県西宮市甲風園1丁目8-1 TEL 0798-69-1185 FAX 0798-69-1186
e-mail: kodomo@leaf.or.jp URL: https://leaf.or.jp



各世代を対象とした総合的な生活力を育むプログラム体系の確立

乳幼児及び家族向け農体験、自然体験活動プログラムの提供

- ・自主事業「こそだてファームらんど・甲山」春夏期(延1,209名)・秋冬期(延944名)合計:延2,153名
各期とも土・日曜日と水曜日の合計6コース(各コース上限10家族)を設定し、延110家族が参加

小学生を対象とした農体験、自然体験活動プログラムの提供

- ・こども農業塾 全5回(5/21、7/30、9/17、10/22、11/19) 10家族
実行委員会:グッドホールディングス(株)、金田運輸(株)、(株)松田組、JR甲子園口ほんわかセンター街、LEAF
協賛:西宮ホワイトライオンズクラブ
・小学校3年生を対象とした「環境体験事業」市内1件

トライやるウィーク(中学2年生社会体験)の受入

- ・西宮市立苦楽園中学校 5/15~19 2名 ・西宮市立瓦木中学校 5/22~26 2名

学習教材として甲山産苗の配布



甲山産苗

甲山周辺の落ち葉たい肥を活用した森林資源循環の取り組みの一環として、西宮市内の市立の保育所22園に、キュウリ、ピーマン、オクラの苗を無料配布しました。

- ・西宮市内保育所 22カ所

学習教材として作成した岩石標本を配布

2022年度甲山自然環境センター事業として作成した「岩石標本」を、市内公立中学校に理科の学習補助教材として2セットずつ配布しました。



活動を支援する拠点フィールド、施設の整備、管理運営

西宮市立甲子園浜自然環境センター及び西宮市環境学習サポートセンターは、2023年度よりプロポーザル形式で公募があり、3年間受託することが決まりました。以下事業に係る体験的学びの拠点施設の運営についてご報告致します。

西宮市環境学習サポートセンター(ミニミニ水族館)

併設されている「ミニミニ水族館」の見学を楽しんでもらうため、魚に関する「水族館クイズ」を毎月作成。延べ16,998名の利用がありました。(2023年度より月曜日に加え、新たに日曜日が休館日となりました)

西宮市立甲子園浜自然環境センター(甲子園浜、3F:学習交流室、ミニミニ水族館の管理)

延べ約34,390名の利用がありました。また、野鳥飛来数統計観察調査を実施しました。

- ・配布物
西宮市立保育所・幼稚園・小学校 78か所に「甲子園浜、御前浜・香櫛園浜環境学習サポートガイド」を作成し、配布しました。また、ワークシート「とり博士になろう」を277枚配布し、認定者数が26名でした。
- ・企画
○「甲子園浜いきものウォッチング」7月29日実施 申込者数:15組 42名 参加者数:13組 36名
○「夏休み 宿題お助け大作戦!」7月19日(水)~8月27日(日)
○「海のいきものをたくさん作ってみよう」7月19日(水)~8月27日(日)
- ・展示
「大阪湾のさかな」および「大阪湾奥域甲子園浜の稚魚・幼魚」をテーマに周年展示を実施しました。
展示水族 (2024年3月末時点) およそ47種 103匹



西宮市立甲山自然環境センター 指定管理業務

- 甲山自然の家を2023年度より再開いたしました。
- ・施設利用者数
甲山自然の家:220組 2,794名 甲山キャンプ場:551組 7,509名
社家郷山キャンプ場:293組 1,260名(10月1日から3月22日まで外壁塗装工事の為休場)
甲山自然学習館:8,225名
- ・出版物
今期の最後となる、自然ガイドブック第4弾「甲山のこれまでと植生」を作成し、「甲山の岩石」、「甲山の昆虫」、「甲山の野鳥」とともに来館者などに無料配布しました。
- ・イベント企画運営
エコひろば:7回(内1回雨天中止、参加者数73名)
遊ぼう屋:4回(内3回雨天中止、参加者数14名)
畑と山で子育て「みやたんファームでお手伝い」:4回(参加者数 延16家族)



神呪寺農地

神呪寺農地については、農業委員会からの指導に基づき、諸手続き等対応を行いました。

西宮市 市民参加による自然等調査業務 企画・運営業務

- 「にのみや 市民自然調査~ウォッチング!西宮の自然~」の企画運営等。(共同事業体提案)
- 「未来につなぐ西宮の自然」ホームページの管理運営。大規模市民自然調査における企画・運営(紙・web媒体による参加募集及び広報。ホームページリニューアル(新コンテンツ(市内小学生対象生きもの図鑑・ネイチャーフォト)作成・管理運営市内学校配布タブレット端末の活用、調査・報告方法についての解説動画を作成等。)
- 印刷物 ・市民自然調査パンフレット46,000部・EWCいきものはっけん×市民自然調査 28,000部
- 報告件数 ・16,702件 ○期間中(6月~11月)平均アクセス数 19,405回 / 月
- イベント ・アプリを使っていきもの発見 10月29日(土) 参加者16名(子ども9名)



結果報告

西宮市環境学習システム(エコカード活動等)の運営

2023年度よりプロポーザル形式となり、受託することができました。市民活動カードの代わりに「保護者用エコカード」、中学校理科の学習補助教材として、各校区の「石ころ標本」の作成やホームページをスマホ対応に移行していくなど新たな取り組みも行っていきます。

「エコカード」を中心とした活動

学校や地域でのエコスタンプ押印は行っていますが、店舗での押印は見送りました。

児童・家庭への配布物やアースレンジャーなどの認定者数は以下のとおりです。

- 配布物
・エコカード限定版を市内市立小学校児童約26,000名に配布
・保護者用エコカードを市内市立小学校家庭数約20,500世帯に配布
・EWCニュース 4回発行
- 認定
・アースレンジャー認定(エコスタンプ10個達成):3,143名
・アースレンジャープラス認定(エコスタンプ20個達成):1,808名
・アースレンジャーファミリー(家庭での取り組み達成):342組
・アースレンジャー6(6年間毎年アースレンジャーになった子ども):99名



幼児向け「ちきゅうとなかよしカード」実施

西宮市内公立保育所23か所に幼児向けエコカード「ちきゅうとなかよしカード」を配布しました。

西宮市内公立学校園への環境学習活動支援 延104件

- ・小学校91件 ・幼稚園8件 ・保育所5件 計10,134名

環境体験事業(講師派遣)3件

- 市内小学校 1件 市外2件
・夙川1件、甲子園浜1件、潮芦屋浜1件



EWC環境パネル展

- 開催期間:2024年2月15日(木)~25日(日)
- 場所:西宮市立市民ギャラリー
- 共催団体:西宮市教育委員会、西宮コミュニティ協会、西宮市環境衛生協議会、一般社団法人西宮青年会議所、西宮自然保護協会、公益財団法人西宮市国際交流協会、NPO法人こども環境活動支援協会
- 来場者数:3,009名



中学校理科の学習補助教材各校区の「石ころ標本」展示とJICA研修員見学の様子

森林資源の循環利用を通じた都市型里地里山事業の推進

LEAF都市型里山里地ボランティア活動

- ・全体説明会 2回 参加者:延べ35名
- ・自然調査 植物、鳥類、昆虫の調査 12回 参加者:延べ110名
調査結果(植物141種、鳥類32種、昆虫類111種)
- ・里山活動 湿原除草等の里備山整一 活動6回 参加者:延べ37名
- ・里地活動 湿原内の除草作業 活動10回 参加者:延べ75名
- ・語り部活動 八十八か所巡りのイベント、準備活動10回 参加者:75名



都市型里山里地フィールド体験セミナー

- ・実施回数 3回(内1回中止) 参加者:延べ15名
- ・テーマ 第1回:甲山湿原を知る
第2回:森林生態系を学ぶ
第3回:森林資源の循環利用を学ぶ

甲山周辺の自然調査

全国1000箇所程度のモニタリングサイトを設置し長期的に生態系、生物多様性の保全施策につなげることを目的とした環境省の事業「モニタリングサイト里地調査1000」。「都市型里山里地ボランティア活動」として甲山周辺の自然調査を実施しました。



福祉作業所と連携した森林資源の有効活用

伐採木を活用したキャンプ場薪材の生産(一部作業をすずかけ作業所に委託)